

～庄内川ゴルフ倶楽部が生まれ変わる～

2023年より「中期3カ年計画」実施中

- ①全てのグリーンをバミューダ芝(洋芝)に改造。(塩谷育代プロ監修)
- ②アプローチ専用グリーンの設置。(桑原克典プロ監修)
- ③コース内の構築物、備品の刷新。
- ④コース全体のクオリティを向上して、きれいなコースを提供。

日本で一番のリバーサイドリンクスコース造りに挑戦します

～遙かなるセントアンドリュースに想いを馳せて～
都心から20分。
3カ年計画が始まる。



昔は芝桜や藤の花が美しい



名古屋のセントアンドリュースを目指す



都心から20分で楽しめるリンクスコース



令和5年4月13日(土)
庄内川ゴルフ倶楽部にてプレー

(写真左) 福本 勝幸 (写真中) 村瀬 一夫 (写真右) アレックス・ブルース
ヒコリーゴルフ倶楽部大会 庄内川ゴルフ倶楽部 セントアンドリュース
日本代表チーム4人メンバー 代表取締役社長、理事長 コスファンパティ(株)のオーナー
ワールドチャンピオン(3勝) 400勝のオーガニスムを成功 ST Andrew's Golf Company

(*)セントアンドリュースゴルフクラブ(G&CC)は、ゴルフ発祥の地、スコットランドで1881年に結成されたクラブ
製作も手がけた。現在、唯一のゴルフクラブ製作所、オールドコース18ホールから500ヤードのところにショップがある。

アレックス氏 コメント

私は先日庄内川ゴルフ倶楽部をプレーさせていただきました。
(セントアンドリュースの工房で製作された、1925年モデルのヒコリークラブでプレー)
まるでオールドコースを攻略するように、ティーショットではフェアウェイの
狭い地点を狙い、アプローチではグリーンを点で攻めることが必要でした。
私は故郷のセントアンドリュースでプレーしている気持ちになってとても嬉し
かったです。次回はスコットランドのような風の強い日に再度、庄内川GCを
ラウンドして、ゴルフの勉強をしたいと思っています。
いつか、セントアンドリュースを訪れる予定の皆様は、是非この庄内川ゴ
ルフリンクスコースで練習してからスコットランドへお越しください。

5階の社長室から庄内川の河川に広がるコースが見える。あちこちに手引カーブを引くようなゴルフを楽しんでいる人たちがいる。「暖かくなってきたら、もっと早朝からゴルフを楽しみたい人が増えてきますよ」と村瀬一大社長、会員の特典で、クラブハウスがオープンする前からプレーがOKとなっていて、夏場になると夜明けを待っていたかのように、集まってくるという。村瀬社長が「これ見てください」と言ったら、机の上に大きな紙を掲げた。飛び込んできた視線の先に壮大な夢が。一連かなるセントアンドリュースに想いを馳せて、庄内川ゴルフ倶楽部は変わる(リンクスコースへの脱皮)。

村瀬社長が描く中期3カ年の計画書だ。「どうですか、いいでしょう。これから3年をかけて、日本のリンクスコースに仕上げていきますよ」。この2月1日に満85歳を迎えたというのに、新たな目標を話し始めた村瀬社長の目は、輝々(らんらん)と輝いた。「私がここに来てから4年ですが、どうですか、コースがよくなったでしょう。だけど、まだまだです。もつともつとよくしたい。見ていてくださいよ、必ずやりますから」。3年前に庄内川ゴルフ倶楽部の社長に就任してから荒れたコースをコツコツと手直してきてきた。はびこっていた雑草は見事に撤去され、ボコボコだった高麗グリーンは平らになった。すでに8ホールグリーンをバミューダ芝に移行したが、3年後は全ホールが完成する。

去る4月13日、うれしい客人があった。セントアンドリュースのメンバーであり、セントアンドリュースゴルフカンパニーのオーナーでもあるアレックス・ブルース氏と、ヒコリーゴルフ世界大会日本代表チームキャプテンで現在3連覇中の福本勝幸氏だ。一緒にカーブを引く、ゴルフを楽しむ、「ここはセントアンドリュースと同じだ」との嬉しい言葉をいただいた。

一方で、「ゴルフ体験教室」をこの6月からスタートさせる。二度もクラブを握ったことのない人にゴルフを体験してもらおうというのだ。「遊び感覚で来て、ゴルフのいろはを知ってもらっていいんです」。ボールもクラブも全部用意し、広いアプローチ練習場も新設予定だ。最後は一緒に数ホールを回りながら、ゴルフの仕組みやルールなども覚えてもらえる。

「ゴルフの面白さを教えてあげたいんですよ。料金は無料でもいいと思っただけですが、1000円にしました。」

村瀬社長自身も指導役を務める。「ゴルフのいろはですから、私にもできるでしょう。何より、楽しくやってみようと思っただけです」。

実は村瀬社長、この4月に400回目のエージシニートを達成して、6月1日に自身のホームコースであるセントクリックGCで「祝400回達成コンペ」を開くというなかなかのゴルフ達人なのだ。

3年後の庄内川GCがどんなリンクスコースに変貌しているのが今から楽しみだ。

「ティーイングエリアの整備やコース内の色もゴルフ場らしくグリーンとかにしたいねえ。都心のリンクスコースが出来上がったら、ゴルフ場の名称も変えたいなあ。例えば、庄内川ゴルフ倶楽部リンクスコースとかね」。嬉しそうに目を細める85歳の夢は果てしなく、広がっていく。

(見玉光雄)